



復興ニュース

138号
2015年
10月1日

東日本大震災から4年半が経ちました

2011年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。岩手県内だけでも、今なお1129人の方が行方不明となっています。



4年半経過した2015年9月11日は、台風17・18号とそれに伴う大雨の影響で、栃木県では鬼怒川、宮城県では渋井川が氾濫、堤防が決壊して大きな被害が出ました。鬼怒川や渋井川の氾濫をテレビで見て、震災の津波を思い出した方も多いのではないのでしょうか。

◎陸前高田市小友町で法要

陸前高田市小友町茗荷にあるお地蔵様の前で9月11日、中尊寺の僧侶である破石澄元さんが法要を行いました。集まった地元の皆さんも破石さんと一緒にお経を読みました。

破石さんは東日本大震災の月命日である毎月11日に、法要のため陸前高田市を訪れています。このお地蔵さまは大阪の彫刻師で一般社団法人元気人間製造研究所の事務局長である中西保裕さんが寄贈したものです。管理は地元の方々が行ってくれています。

滝の里仮設（陸前高田市）杉下仮設（大船渡市）で法要と慰問 奥州市から 興性寺・演芸みなみ寿座・ひたかみ福祉会

9月10日午後杉下仮設を訪問し、最初に奥州市江刺区の真言宗興性寺司東隆光副住職による法要が行われた後、ひたかみ福祉会「ワークみずさわ」の有志による「スコップ三味線」演奏、演芸みなみ寿座3人による踊りが披露されました。最後にはプレゼントに持参した豆腐・オカラ・ドーナツを配布し懇談しました。

同行した水沢区南大鐘町内会長の村上徳也様から次のような報告が後日ありました。

興性寺の住職と檀家信徒の方々は、震災地慰問は今回で12回目（約40カ所訪問）、仮設の皆さんと一緒に「般若心経」を唱え、「円空聖観音菩薩像」（岐阜円空彫り同好会制作）を贈った。

住宅再建や公営住宅が出来れば仮設を離れる人、希望しても入れない人、住宅再建のめどが立たない人等、震災から4年半色々の不安を持っていました。

「いつまでこんな暮らしが続くのか不安です」、「復興の遅れが希望の灯を消しかねない」などの声、被災地の復興課題は未だ山積しています。被災地・仮設住宅に暮らす皆さんの悩みや課題等、県内や中央の関係団体等に情報提供しながら「忘れない、風化させない3.11」を心に、震災5周年となる平成28年3月11日に被災地訪問を約束して帰路につきました。



三陸町杉下仮設

使用済み「てんぷら油」を回収!

環境汚染防止と
新しい資源づくりへ

★使用済み「てんぷら油」を燃料に変えよう!

県地球温暖化防止活動推進センター(NPO 法人環境パートナーシップいわて)の働きかけから、一昨年から気仙2市1町や県振興センター、岩手生協等による懇談会の開催や先進地視察、エコクッキング講座「豆腐ドーナツ作り」を行い、『「使用済みてんぷら油」を燃料に変えよう』と理解者を増やす努力を行って来ました。



★天ぷら油で自動車が走る

家庭から出る使用済み天ぷら油をそのまま廃棄すると環境汚染の原因になってしまいます。しかし、天ぷら油を回収、ろ過、精製処理を行うことでバイオディーゼル燃料(BDF)にし、自動車や農業機械の燃料として使うことが出来るのです。

★大船渡市産業まつり

「使用済みてんぷら油」を回収します ご協力下さい

10月17日(土)・18日(日)に大船渡市民体育館で行われます第35回大船渡市産業まつり(同会場:第29回大船渡さんまつりも開催)で、使用済みてんぷら油を回収します。

【回収方法】油こし等でこして、500mlペットボトルに入れて、産業まつりの「BDF紹介コーナー」へお持ちください。お持ちいただいた方には、BDFを活用して生産しましたお米(250g)を差し上げます(先着20名様2日間とも)。

★吉浜拠点センターで「エコクッキング講座」開く 次回は大船渡地区公民館で開催

NPO 法人環境パートナーシップいわてによるBDF普及活動の一環として、9月10日吉浜拠点センターで、県産大豆や地元吉浜産のワカメなど地産地消を意識した材料で、豆腐ドーナツ作りを行いました。終わってドーナツを食べながら、使った油が車の燃料になることを学びました。講座終了後同法人職員らは、大船渡北小学校放課後児童クラブ「ゆうゆう」を訪問し、廃食油で使ったキャンドル作りを行い、合わせて午前中に作ったドーナツをプレゼントしました。

次回のエコクッキングは、11月26日午前9時30分から、大船渡地区公民館で行います。



kesenよさ恋フェスタ2015

【期日】 2015年10月25日(日)

【時間】 午前11時~午後4時まで(午前10時30分開場)

【場所】 大船渡市民文化会館リアスホール 大ホール

【入場料】 無料

県内外のよさ恋チーム15団体の演舞に加え、特別参加に阿波踊りエンターティメント「寶船」、山形花笠踊り「中山豊田SMILE花笠隊」の元気いっぱいの演舞をご覧ください。

【問合せ先】 kesenよさ恋フェスタ実行委員会

(TEL090-2602-5559 佐藤)

盛駅舎内外の清掃奉仕

気仙光陵支援学校の寄宿生のみなさん

9月14日午後、元気の良い生徒さんと教師の皆さん約40名に、盛駅内外の清掃奉仕を行いました。終了後に三鉄盛駅を運営しているNP 法人夢ネット大船渡の岩城理事長と熊谷駅長へ、生徒代表から次のような挨拶がありました。

今日は、掃除をさせて頂きありがとうございます。私達は、盛駅を登下校の際に使わせていただいています。地域の人たちに喜んでもらえるように、いっしょけんめい掃除をしました。きれいになったので良かったです。今後も、盛駅を利用する時は、きれいにしていねいに利用したいと思います。今日は、本当にありがとうございました。



被災農地を再生し復興の柱に！ オリジナルブランド米 「たかたのゆめ」 収穫

陸前高田市の復興のシンボルとして復活した小友町の農地、農事組合法人「サンファーム」組合長の石川満雄さんに、9月17日草刈り作業中のところを訪問しこれまでの歩みを聞きました。

『大震災では一面ガレキの山となった農地、何とか再生したいと考え、水利組合員であった395人へ案内し、今後について話し合ったところ、「平成7年の土地改良事業の負担金が残っている」、「後継者がいないので農業を止める」等々の意見がありました。

陸前高田市長へ農地再生への要望書を提出した結果、農地所有者の負担金は市で対処しようとなりましたが、新たに土地改良事業を行うには地権者の同意（7割以上）が必要となり、市や県の指導を受けて取り組んだ結果、幸いにも地権者の同意を得ました。農事組合法人「サンファーム」を設立することが出来、土地改良工事や試験田での耕作等に取り組みました。



「たかたのゆめ」刈取り作業 9/17



組合長の石川さん

地盤沈下分の1畝のかさ上げ工事、区画を30畝～50畝の田圃にし、合わせて95畝の農地が再生しました。

平成26年度から本格的に耕作を行い、課題もありましたが豊作に恵まれました。今年度はブランド米「たかたのゆめ」を15畝（陸前高田市全体では54畝）、飼料米15畝、大豆10畝、もち米1畝、ひとめぼれ48畝ほどを作付し、関係者のご支援により収穫の時期を迎えることが出来ました』（要約）と語ってくれました。陸前高田市のオリジナルブランド米「たかたのゆめ」は好評です。皆さん食べてみませんか？

◎黒土田仮設（綾里中校庭）の撤去作業が進んでいます

大船渡市三陸町綾里の黒土田仮設（90戸）の解体作業が進んでいます。この仮設住宅は綾里中学校校庭に建てられた仮設住宅で、大船渡市内の小中学校校庭に建てた仮設住宅の撤去はで初めてです。

今年の4月に入居者がすべて退去し、9月から解体作業が始まりました。12月に解体作業が終わり、グラウンドを現状復旧して綾里中学校に返却される予定です。

また、大船渡町上平仮設（41戸）の解体作業も始まりました。入居者は災害公営住宅や別の仮設住宅へ引っ越ししました。



綾里中学校校庭の仮設住宅の撤去工事始まる

三鉄駅からウォーク 毎月実施



越喜来湾を望む「未音崎湾望台」

9月19日の三鉄駅からウォークに9人参加、コースは三陸駅から約3km、新山神社・小枝柿の原木（根元約2mの太さ）・越喜来地区犠牲者の祈りの場所「未音崎湾望台」・津波記念物等の展示館「潮目」・被災にも負けないポプラの木等を巡りました。次回（10月17日）のコースは、震災の翌日（23年3月12日）に予定していましたコースを歩きます。

「NPO法人の運営」基礎講習会 参加無料

シニアパワーいわてによる「NPOの総合的な事務の基礎知識の習得を目指す」基礎講習です。

日時 27年11月6日（金）13:00～16:00 終了後個別相談にも対応します。

場所 大船渡地区合同庁舎 会計ソフトのご相談の方は、パソコンを持参ください。

事前申込 団体名、住所、電話、メール、参加者名等をお知らせ下さい。

照会・連絡先 Tel・fax 019-626-0098（中村）

三鉄盛駅ふれあい待合室からのご案内 TEL0192-47-3542

◆無料法律相談 《申し込み必要》

10月4日(日)・11月8日(日) 10:00~13:20

弁護士が無料で相談に応じます。税務相談(10月4日のみ)も受け付けております。

相談時間は1人40分です。仮設住宅や災害公営住宅へも訪問相談に対応します。

◆盛駅賑わい市

10月10日(土)・10月24日(土) 10:00~午前中

旬の野菜販売(はこべの会)、子供服・手芸用布プレゼント、
待合室では復興手芸品、ご当地スイーツなどを販売します。

三鉄に乗って陶芸教室

10月19日(月)

9:13盛駅発 15:02盛駅着

甫嶺駅の近くの窯

参加費3000円 定員10名

(材料・昼食・乗車代)

◆三鉄 駅弁列車 《申し込み必要》 10月は2回実施

10月11日(日)・10月25日(日) 両日とも11:00に盛駅集合

11:25盛駅発一釜石駅一13:25盛駅着

参加費2500円(乗車券、駅弁・飲み物代) 締切:実施日の5日前 各定員48人

ウニの炊き込みご飯、ホタテ、アワビ、イクラ、カキ、ワカメ、サンマの竜田揚げ
が入った少し贅沢な駅弁をいただきます。食べ物・飲み物の持ち込み自由です。

◆三鉄 駅からウォーク 《申し込み必要》

10月17日(土) 8:30に盛駅集合 盛駅9:13発一甫嶺駅9:35着

甫嶺駅出発~被災地や紅葉を見ながら~三陸駅まで約5km。

帰路:三陸駅11:27発一盛駅11:55着

参加費550円(乗車券、保険料代) 飲み物等持参下さい

締め切り10月14日(水)



静岡県の宮地さんから
贈られた絵がみ
仮設の方へ届けました

短歌のご投稿 ありがとうございます!!

われ故郷(さと)を あぐど(かかと) 減るまで 見渡せど
まぶたの緑松(まつ)は 海の幸と消えゆく

※私が大好きだった、高田松原のさざ波寄せる松並木は、恨みつらみの出来ない大自然の猛威に、母なる大海に帰ってしまいました。

老いた母 霜柱(しも)の立つ季に 施設へと
送るせつなさ 遠地で詫びる

※90歳になる一人暮らしの老いた母も、種山おろしの冷たい風と霜柱の立つこの季節になると越冬の施設へ送り届けることとなります。そんな母には何もしてやれずに遠い地から只々思いを馳せるだけです。

埼玉県八潮市(住田町出身)
菊池 勉さんより

~ご意見、ご感想をお寄せください~

短歌・俳句作品も募集しています。

◎どなたでも応募可能です。

◎電話、メール、封書でお寄せ下さい。

送付元:NPO 法人夢ネット大船渡

*大船渡市盛町字内の目 14-15

*TEL/fax 0192-47-3271

*メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

この復興ニュース発行には
岩手県福祉基金からの助成と
MS&ADゆにぞんスマイルクラブ
NPO 法人美山まちづくり NPO
(福井県福井市)
のご寄付を受けています。